



(協)熊谷流通センター
副理事長 清水龍男



皆さんは行田市内にある「さきたま古墳群」を世界遺産登録へ向けた運動があるのをご存知ですか? 「さきたま古墳群」は昭和13年に国指定の遺跡になり、昭和43年に稲荷山古墳から出土された鉄剣から浮かび上がった百十五文字の金文字が人々を驚かせました。それが昭和58年に国宝に指定された「金錯銘鉄剣」。銘文には、鉄剣を作らせた地方豪族オワケノ臣が、倭国のワカタケル大王(雄略天皇)に仕え、天下統一を助けたと記されています。

埼玉県議会において上田知事の「さきたま古墳群は世界遺産に登録される価値が有る。」との発言を契機に、行田市・行田商工会議所が中心となり、世界遺産登録に向けた取り組みを行っています。行田市では「行田市世界遺産登録推進協議会」をスタートさせました。

民間ではさきたま古墳群の価値やこの事業を広報する団体「世界遺産サポーターの会」を立ち上げました。

残念ながら、昨年第1関門となる文化庁の国内暫定リストからは

トピックス 2p
平成21年新年会開催

ニュース 3p
株と円と WTI 原油
先物価格の大有想

ニュース 4p
熊谷中金会総会

漏れてしまいましたが、行田市では各種団体を通じて県内・県外へのPR、サポーターへの呼びかけを行い、活動の輪を広げています。

「さきたま」は埼玉県名の発祥です。ぜひ行田の「さきたま」ではなく、埼玉の「さきたま」、日本の「さきたま」への運動をご理解、応援をお願いします。

毎年5月4日にはさきたま古墳にて、古代へのロマンと神話への誘い「さきたま火祭り」が開催されます。ぜひご見学下さい。

世界遺産登録サポーターについてのお問い合わせは行田商工会議所へ。



豆知識 ●●●●●●●●●● さきたま古墳群

5～6世紀の頃の古墳群。9基ある古墳のうち4基(二子山古墳、稲荷山古墳、鉄砲山古墳、丸墓山古墳)が100mを超える大きさ。丸墓山は直径105mの日本最大の円墳。他は前方後円墳。二子山は直径138mで東日本有数の大きさ、周りに周濠が残っている。將軍山は後円部に横穴式石室をイメージした展示室がある。稲荷山は金錯銘鉄剣を出土したことで有名。

もっと便利に簡単に、というコンセプトのもと、様々な商品やサービスを提供することで、企業がしのぎを削っている。

たとえば家庭では、こぶと鰹節で出汁をとるのがあたりまえだったのが、インスタントの出汁の素ができ、さらに料理をしなくてもいいカップものやレトルト、冷凍食品がいまや主流となってしまった。時代の流れと言ってしまうえばそれまでだが、原点の出汁のとり方を知らない人が多数となっているのに違いない。つまりレトルトや冷凍食品が世の中のスタンダードとなってしまう。

ところが、人の健康を無視した一部の偽装事件や薬物混入・農薬汚染がある日突然発覚すると、便利なものになれてしまった人々は、はしごをはずされてしまう。そこであわててやれ食育だとか、食料自給率を上げると言われても、その簡単には元に戻れない。

この流れは食に限ったことではない。全てにおいて原点を忘れてしまったツケが今来ている。



Photo Essay



◆平成21年新年会開催◆

2009.01.16

理事長年頭挨拶要旨

今年で団地開設34年になるが、思い起こせばその間に成功例・失敗例いろいろありました。

平成21年を迎え、国内は政治・経済においていろいろな問題を含んでおります。まず、政治におきましては福田内閣から麻生内閣に変わりました。麻生内閣は経済再生に力を入れておりますが、衆参ねじれ現象の中で野党の抵抗に遭い厳しい政権運営を余儀なくされております。

一方、経済におきましてはサブプライムローンに端を発し、リーマンショックによる金融不安は瞬く間に世界中に広がりました。アメリカによる、実体経済を無視した金融政策の失敗といえるでしょ

う。1月20日にはオバマ氏が大統領に就任致します。世界経済もチェンジに期待したいと思います。

35年近くを顧みますと、経済の波が20～30年で変化してきた中で、当組合はインフラ整備に立ち後れた感があります。9月には、加賀崎市議の協力を得て、熊谷市に市水道施設の陳情を致しました。これからもインフラ整備を含めじっくり腰を据えて干支である牛のように着実に進んでいきたいと思ひます。皆様のご多幸とご繁栄をご祈念致します。

当組合恒例の新年会は、1月16日午後4時より組合会館3階に於いて、御来賓・組合員総勢52名の出席を得て盛大に催されました。

及川専務理事の司会により、大久保理事長から新年の挨拶（別掲）を頂きました。

続いて富岡熊谷市長・羽鳥行田市副市長、ほか御来賓各位の祝辞を頂き、来賓15名の紹介のあと、泉熊谷市議会議員と斉藤行田市議会議員お二人の乾杯の発声により懇親会に移りました。組合員同士の挨拶や、御来賓と組合員が歓談する姿もみられ、和やかなうちにお互いの団結・相互親睦を深めたひとときでした。



第26回青経会通常総会開催



境への対応を考える」を、交流委員会は、「会員に活力を与える」をそれぞれテーマとし、活動していく事とした。引き続き、新入会員2名の紹介と20年度例会皆勤賞の7名の会員を表彰した。

総会終了後、ご来賓としてお招

きした商工中金柴崎支店長からの御祝辞と乾杯のご発声で、新年懇親会に移った。情報交換等やかな宴の中にも、更に厳しさを増す経営環境に対して会員同士一層結束を強めこの難局を乗り越えていく事を約束し散会となった。

熊谷流通センター青経会は、去る1月29日（木）第26回通常総会を開催した。

清水代表幹事の挨拶の後、同氏を議長に選任し、平成20年度事業実績・同収支決算案を審議、可決承認された。続いて役員改選を上程し、別掲の通り新役員が選出された。

新体制の基で実施される平成21年度事業計画・同収支予算案も、全員の承認を得て可決承認された。

21年度の事業方針を、経営委員会は「自企業を取り巻く様々な環

☆青経会新役員☆

代表幹事	小林肇氏
副代表幹事	
青年中央会担当	野原治人氏
経営委員会担当	石山洋一氏
交流委員会担当	山崎康弘氏
相談役	大久保和政氏
	武藤正氏
	清水龍男氏
監事	小菅章次氏
	野村泰豪氏
経営委員長	孫田猛氏
同副委員長	堀口正史氏
交流委員長	中村昌樹氏
同副委員長	吉澤啓介氏

★青経会平成21年度事業計画★

1月29日	総会
2月12日	経営・交流両委員会
2月13日	講演会・櫻井よしこ氏
3月10日	研修例会 / 経営委員会
4月14日	親睦ゴルフ
6月9日	研修例会 / 経営委員会
8月4日	交流会（交流委員会）
9月19日	視察研修（予定）
10月6日	研修例会 / 経営委員会
11月10日	交流委員会
12月8日	スタッフ会議

2009年3月末の株と円と WTI原油先物価格の大予想

1999年から始まった恒例のこの企画も今年で11年目を迎える。会員の皆様には今回限定の新規企画として、WTI原油先物価格の予想もしていただいた。

◆◆◆<株価予想の部>◆◆◆

—平成20年11月20日提出期限—
これが、結果として皆様の予想を大きく分散させた絶妙のタイミングとなってしまった。

バブル崩壊後の最安値6,994円を10月28日に記録。その最安値を見たあとの今回の予測だけに、たいへんバラけたものになってしまった。最低6800円から最高1万2050円の予測値の幅は過去例を見ない。

案内を送った11月初めは9,521円、期限間近には7,406円と実際の相場が変動。各々の提出日とその時の相場をプラスorマイナスで予測するとまさにこれだけの範囲になるという興味深い結果となった。

また前年の1万2,525円54銭と比べ、終値は約35%ダウンと新聞の見出しを大きく飾るものとなった。

◆◆◆<円相場予想の部>◆◆◆

それまでの円キャリートレードによる円安から一転。円の独歩高という現象が起こり、一時87円11銭を記録。急激な円高が大学の資産運用を直撃—百億円以上の損を計上したというニュースが話題になった。リスクな資産運用が大学でも行われていた事実を知るきっかけとなった。

円ドル予想も株価同様、75.00円から108.00円と大きく分散。12月—3月末の市場は87円から99円のボックス相場を形成。

11月中旬の円相場と同じレベルで3月末を迎えた。3月の終値は前年の99円87銭と比べ、約1%の下落である。

◆◆◆<WTI原油先物価格の部>◆◆◆

平成20年6月末から7月中頃までのことを、日本国民は当面忘れることはないだろう。WTI原油先物価格が140ドル台で推移。1リットル180円の理不尽な価格のガソリンを入れることを余儀なくされる。

世界の余剰マネーが原油市場に流れ込んで、価格を押し上げたと経済アナリストの解説。ガソリン代は家計を圧迫、海外旅行には燃油サーチャージ料等々、原油高は諸悪の根源となった。

一部の国民はガソリン離れを選択し、そして車は売れなくなった。原油高騰の代償はあまりに大きく、当然の帰結となった。

予想は40～130ドルと広範囲に分散。株価・円相場同様大きく下振れしたものの、11月中旬頃の価格に戻って3月末を迎えることとなった。また1年を通したボラティリティ（変動性）の高さでは3つの市場で原油先物価格が最高であった。最後に、小林氏・飯野氏の両名は3つの予想の10位以内に入り、素晴らしい結果であったことを付記しておく。

株価 8,109.53円 (3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	株価/円
1	(株)大和	飯野彰	8,150
2	理事	飯島賢二	8,250
3	理事	小林肇	8,305
4	理事	小菅克祥	7,860
5	専務理事	及川亨	7,800
6	理事	武藤正	7,777
7	関越小松フォークリフト(株)	持田晴夫	8,451
8	監事	渡辺優	8,472
9	理事	藤間憲一	7,600
10	理事	岩崎研太郎	7,500
10	K n e t (株)	野村泰豪	7,500
10	永田紙業(株)	永田耕太郎	7,500

円相場 98.8099円 (3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	円相場/円
1	(株)ヤマシタコーポレーション	高橋賀津雄	99
2	(株)大和	飯野彰	98.5
3	副理事長	清水龍男	98
3	理事	藤間憲一	98
3	理事	飯島賢二	98
3	理事	石山洋一	98
7	理事	小林肇	99.9
8	理事	中沢実	100
9	監事	渡辺優	97.45
10	監事	不破武久	100.5
10	事務局長	仲俣巧	100.5

原油価格 49.66ドル (3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	原油価格/ドル
1	監事	不破武久	50
2	(株)イーエムシー	永井	50
3	理事長	大久保政一	49
4	副理事長	清水龍男	51
5	関越小松フォークリフト(株)	持田晴夫	51.25
6	理事	小林肇	51.45
7	副理事長	大久保和政	53
7	事務局長	仲俣巧	53
9	(株)大和	飯野彰	46
10	理事	小菅克祥	46



熊谷中金会総会

熊谷中金会の第29回定時総会は、2月13日ホテルガーデンパレス熊谷で開催され、所定の議案はすべて可決承認された。

総会後の講演会は、今回で6年

目となる櫻井よしこ氏を講師に迎え、「今、日本が直面する内外の課題」と題して行われ、歯切れのよい語り口に約120名の出席者も熱心に聴き入っていた。

理事会開催

12月15日
報告事項
「上期収支実績と20年度収支見込」
2月10日
議案第10号
「PBXの代替について」
議案第11号
「物流センターの補修について」

3月26日
議案第12号
「組合会館等利用料金の見直しについて」
議案第13号
「将来計画検討特別委員会の活動について」
議案10～13号原案通り承認

ソシオ寄席開催



春秋会の忘年会が、12月15日ホテルガーデンパレスで開催された。当日は昨年と同じく、落語家の立川談幸師匠を招き「ソシオ寄席」を開催した。師匠は、立川談志の唯一の内弟子修行を経験しており、そのときのエピソードを交えた話に40名の参加者は大いに盛り上がった。

サクラ咲く

4月3日夕刻より、春秋会・青経会共催のお花見が、ライトアップされた団地内中央緑地の桜の下で45名の参加を得て行われた。

天候にも恵まれ、大いに飲み、語らい有意義なひとときを過ごすことができた。



青経会例会



3月の例会は、当会の経営委員長で、旅館経営コンサルタントの孫田氏に講師をお願いし、「実践コンサルティングの現場から」と題し温泉旅館の実態とその背景や経営の再生事例について講演していただいた。

話の内容が実話に基づいたものであり、出席者からは参考になったとの意見が多かった。

組合員の動き

新規加入

株式会社セカイタカ酒販
支店長 齊藤正
酒類卸売業
熊谷市問屋町3丁目4番3号
2月17日

脱退

リョーショクリカー株式会社
1月13日

代表者変更

株式会社騎西屋
吉澤孝夫氏から吉澤啓介氏へ
1月30日

訃報

株式会社騎西屋 代表取締役社長吉澤孝夫様が、12月15日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

事務局日誌

12月15日 理事会
24日 将来計画検討委員会
1月16日 組合新年会
27日 青経会スタッフ会議
29日 青経会総会
2月3日 正副理事長会議
10日 理事会
10日 将来計画検討委員会
12日 青経会経営・交流委員会
16日 総務委員会
3月6日 商団連事務局長会
10日 青経会例会
12日 正副理事長会議
26日 理事会
4月3日 春秋会・青経会花見
7日 広報委員会
14日 青経会コンペ